

ベネズエラの動向(10月～11月)

I. 政治・経済

1. 議会、2012年予算案承認へ

- 10月20日、ジョルダニ財務大臣は、総額2,978億ボリバル(693億ドル相当)の2012年予算案(GDP比19%)を議会に提出した。当該予算案は、前年予算2,042億ボリバル(479億ドル相当)を45.6%上回るものとなる。主な内容は下記のとおり:
 - 推計インフレ率は20～22%(年率)¹
 - 国内原油価格は50ドル/bに設定(過去2年の設定価格は40ドル/b)²
 - 対ドル・ボリバル為替レートは1ドル=4.3ボリバルと現状維持
 - 推計GDP成長率は5%
 - 歳入の構成は非石油セクター(55.4%)、石油セクター(22.8%)、内国税(21.8%)
 - 債務上限を817億ボリバル(190億ドル相当)³と設定
 - 推計債務赤字はGDP比3.6%

2012年予算主要配当先		
配当先	概算要求予算	前年比
財務省	604.2億ボリバル(140.5億ドル相当)	104.8%増
内務・法務省	512.7億ボリバル(119.2億ドル相当)	37.9%増
文部省・高等教育省	479.1億ボリバル(111.4億ドル相当)	0.5%増
防衛省	213億ボリバル(49.5億ドル相当)	108.2%増
厚生省	194.5億ボリバル(45.2億ドル相当)	25.8%増
労働・社会治安省	193.2億ボリバル(45.1億ドル相当)	44.9%増
連邦評議会	160億ボリバル(37.2億ドル相当)	49.5%増
その他	109億ボリバル(25.3億ドル相当)	2.7%増

出所:ベネズエラ政府

- 同大臣は「当該予算は国内経済刺激策であるとともに、世界経済危機の影響を回避するもの」とコメント。また、石油プロジェクト及び社会プログラム向け投資を通じ、2012年のGDP成長率は5%程度に達する見込みとコメント。
- 当該予算案によると、PDVSAの財政貢献額は前年より50%増の157.7億ドル相当と見込まれている(歳出の23%をカバーする規模)。
- 他方、アナリストは、当該予算案は「非現実的」と指摘。実際の歳出は、前年より75%増の5,200億ボリバル(1,209億ドル相当)、財政赤字はGDP比11%の1,830億ボリバル(426億ドル相当)と見込んでいる。更に、年内に債務上限引上げを可能とする債務補給法⁴が適応されるとの見方もある。

¹ メレンテス中銀総裁は「当該インフレ率は達成可能な水準であり、中銀はインフレ削減に注力して行く方針」とコメント。

² ベネズエラ政府は、油価変動リスク回避の目的から、予算上の原油価格を低く設定している。現時点の平均原油価格は100ドル超。

³ うち、258億ボリバル(60億ドル相当)を債務支払に充てる見込み。なお、前年の債務上限は125.6億ドル相当。

⁴ 「Ley de endeudamiento complementario」。

- 議会は、27日、当該予算を第一回審議で承認〔賛成 98(与党)：反対 67(野党)〕し、12月15日までに同法案を可決する方向。

2. 政府、2026年債発行へ

- 10月11日、政府は、総額30億ドルのドル建債(利率11.75%、満期期限2026年)を国内市場で発行すると発表。同債の販売は、Credit Suisse Group 及び露 Evrofinance Mosnarbank により管理され、投資家はポリバルで購入することができる。
- 10月17日、政府は、当該債券の入札結果を発表し、30億ドルのうち20億ドルは国営銀行に、残りの10億ドルは中銀に割り当てられた。これにより、CADIVIに登録するカテゴリI(戦略セクター：食糧・医療・資本財)の輸入業者は、要請額の100%を受取り、カテゴリII(その他)の業者・個人は要請額の50%以下を受取ることとなった。
- Fitch Ratings は、当該債券を「B+」と格付けており、ベネズエラは政治・経済状況が悪化した中でも、債務返済を実施している肯定的な記録を保持していると説明している。他方、一部アナリストは、「国際市場の状況が悪化する中、マーケットは当該発行を期待しておらず、マーケット反応はネガティブ」と説明している。ベネズエラは、早いペースで債務を拡大しており、それとともに、将来的なデフォルト懸念も拡大している。その他、2012年10月に実施予定の大統領選挙を背景に、政府は多くの債券を発行しようとしているとの見方もある(政府が今年中に発行した債務額は PDVSA 社債と合わせると総額175億ドル超にのぼる)。

II. 外交

1. 中国は、ベネズエラ向けに新たな資金協力を決定

- 11月21日、第10回ベネズエラ・中国ハイレベル共同委員会がカラカス市で開催され、両国政府は、経済、社会及び文化にかかる300以上の現行の協力協定を確認すると共に、エネルギー・石油、科学・技術・中間産業、農業等分野における9つの新たな協力協定を締結した。主要内容は下記のとおり：
 - ① ベネズエラ企画財務省、エネルギー石油省、経済社会開発銀行(BANDES)、国家開発基金(Fonden)、中国開発銀行及び中国石油天然気集团公司(CNCP)は、二国間の経済開発促進を目的とした戦略的な金融協力の枠組み契約に調印
 - ② 両国 J/V Sinovensa の石油生産量拡大を目的として、40億ドルの融資契約を調印(期間8年、LIBOR+5%)⁵
 - ③ PDVSA 子会社 CVP(Corporación Venezolana de Petróleo) 及び中国機械エンジニアリング(CMEC)は、石油コークス発電所建設にかかる MOU を締結
 - ④ ベネズエラ電力企業 Corpoelec、中国電力発電企業、中国エンジニアリング企業 CGGC 及び中国 CAMC エンジニアリングは、Tocoma-Uribante 送電線建設の実施について基本合意
- 上記①は、ベネズエラ・中国共同基金(Fondo Conjunto Chino-Venezolano)の契約更新を含むもの(40億ドル規模で既存契約からの変更はない模様)。当該基金は、2008年の設立以来、2度にわたって資金注入されている。第一回は、設立当時、中国開発銀行と FONDEN がそれぞれ40億ドル、

⁵ ラミレス・エネルギー石油大臣は、中国石油企業が開発中のフニン4鉱区以外に、フニン1・8鉱区、ボヤカ4鉱区及びMP3鉱区の開発権を Sinovensa に付与すると発表。

20 億ドルの融資を供与し、ベネズエラは 2010 年に中国融資を石油取引により返済済⁶。第二回は、2009 年に同様の措置が講じられており、融資返済は 2012 年 2 月に完了する見込み。

- 更に、中国開発銀行は、PDVSA に対し精製プロジェクト(15 億ドル相当)及び中国製機器輸入(5 億ドル相当)向けクレジット・ラインを決定。
- 中国は、過去 2 年間でベネズエラ向けに 240 億ドル相当を融資している。

III. 石油その他の資源セクター

1. PDVSA、24 億ドルの社債発行へ

- 11 月 14 日、PDVSA は、投資計画や社会プログラム等の資金調達向けに 24 億ドルの私募債(期間 2021 年、利率 9%)の発行を発表。同社は、中銀との間で、2013 年満期の債券(12.5 億ドル)を新発債と交換し、5.6 億ドルを現金化することを決定(残額の 5.8 億ドルの詳細は未発表)。
- 同社は、今年だけで 104 億ドル相当の社債発行を実施しているものの、今後の償還義務は問題なく満たせるとの見方が主流。なお、政府は 2012 年実施予定の大統領選挙後に市場が混乱した場合の備えとして当該発行が実施されたとの分析もある。

2. PDVSA 外交

- 10 月 1 日、PDVSA は、ウルグアイ国営石油企業 Ancap からアルゼンチンの燃料配給会社 Petroleras del Cono Sur(PCSA)持分 47%(資産価値 11.2 百万ドル相当)を 1 ドルで買収。これにより、PDVSA は PCSA 持分 94.83%を保有することとなる。
- 10 月 3 日、伯開発銀行 BNDES は、ベネズエラとブラジルが共同実施する Abreu e Lima 精油所開発プロジェクトに対する PDVSA の保証を条件付で承認したとコメント。PDVSA は、当該プロジェクトへの参画(持分 40%)のために、BNDES 債務の 40%を引受けるとともに、持分相当の出資を実施せねばならない状況。なお、当該プロジェクトは、2007 年末に実施された建設契約の調印以来、PDVSA の資金調達問題が繰返し浮上したため、開発が延期となっている。
- 10 月 24 日、ラミレス・エネルギー石油大臣は、ベネズエラは 2011 年に Petrocaribe のエネルギー協力イニシアティブ向けに 9.8 万 b/d を供給したと発表。同国は、2005 年のイニシアティブ発表以来、加盟 12 ヶ国に対し 176 百万バレルの石油・石油製品(142 億ドル規模)を輸出している(ベネズエラは、加盟国需要の約 45%を供給していることとなる)。
- 11 月 1 日、PDVSA は、オリノコ重質油地帯にある Dobokubi 油田の開発権 14%を Petroecuador に移転することを決定。両社は、2009 年にエクアドルのサチャ油田開発にかかる J/V Rio Napo 社を設立しており、本件も当時締結された MOU の一環として記載されているもの。Petroecuador は、ベネズエラ東部地域にあるオナド油田にも参画している。

以上

⁶ 現在、ベネズエラは、融資返済向けに PDVSA 石油生産量の約 15%を占める 41 万 b/d を中国に輸出している。

本レポートは発表時の最新情報に基づいて作成されておりますが、情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、レポートの内容は今後予告なしに変更されることがあります。予めご了承下さい。